

## 【美作市教育委員会】

### 校務 DX 計画

美作市では、GIGA スクール構想に基づき、ICT 環境の整備を進めてきました。しかしながら、教育現場では業務の複雑化や負担増加といった課題が依然として存在しており、効率的な校務運営が求められています。

美作市の教育現場における校務 DX 化を推進するため、以下の 4 つの重点項目を定めた。美作市では、これらの課題を克服し、各重点項目における対策を実施し、教職員の業務効率化、ペーパーレス化、そして質の高い教育活動の実現を目指す。

#### 1. クラウドサービスの活用促進

- ・教職員向けのクラウドツール（グループウェア）導入校務支援システムの教育ダッシュボードの活用を促進し、データ連携による業務効率化の実現を図る。
- ・次世代校務支援システムの導入完了（令和 11 年度まで）に向け、令和 8 年度までに統合型（クラウド型）校務支援システム導入の検討を進める、併せて、令和 8 年度までに校務支援システムへの名簿情報について、市教委から学校をデータで提供する等の形式を検討することで、不必要な手入力作業の省略を図る。
- ・セキュリティ対策の強化：教職員に対して、クラウドサービス利用時のセキュリティ対策に関する研修等を実施し、情報漏洩のリスクを最小限に抑える。

#### 2. 校務 DX 推進体制の構築

- ・多要素認証等の情報セキュリティ対策を講じた上で、令和 8 年度までに校務系と学習系のネットワークを統合し、校務の効率化を図る。
- ・教職員のスキル向上：外部講師や専門家による研修を実施し、教職員のスキル向上を支援する。
- ・生成 AI の活用：教職員向けの生成 AI 活用について活用方法を検討する。

#### 3. FAX・押印の見直し

- ・電子署名・認証システムの導入検討：教職員向けのクラウドツール（グループウェア）導入や電子署名等の導入を検討し、FAX や押印に頼らない業務体制の構築を図る。

#### 4. ペーパーレス化の推進

- ・会議資料のデジタル化：会議資料をデジタル化し、ペーパーレスな会議運営を促進する。
- ・デジタル教材の活用促進：デジタル教材の活用を促進し、紙ベースの教材の利用を減らす。

- ・保護者との情報共有強化：行政機関のツール等を活用し、保護者へ連絡体制を強化・迅速化及び紙使用削減を推進する。